

「令和2年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		中央公民館事業費 [中央公民館施設管理]										
予算科目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費	事業番号	1	
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	中央公民館 課 事業 係					課長名		越中 洋				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1 - 2			
【施策名】 生涯学習の充実								総合計画書 (ページ)	35			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	中央公民館利用者					中央公民館利用者数 (集計表あり)						
	→											
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
利用者がが安全に利用できるようにする					公民館の利用率 (集計表あり)							
→												
③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
①施設内外の点検・確認 ②業者に点検委託している ③工事修繕					①開館日数 (集計あり) ②委託件数 (予算書等参考) ③施設工事修繕件数 (実績より)							
→												
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績		令和3年度目標		令和4年度目標		
	対象指標	①の数値	人	108,301	83,541	33,175						
	成果指標	②の数値	%	68.6	63.4	49.8						
	目 標	②の目標値										
	目標値設定の考え方											
活動指標	③の数値	①日 ②件 ③件	①306 ②18 ③16	①283 ②8 ③10	①253 ②8 ③3							
3 経費	事業費(実績)		円	0	80,665,839	5,128,089		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円		21,499,989	5,128,089						
		特定財源(国・都・他)	円		59,165,850	0						
		(うち受益者負担)	円		326,850	0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人									
		所要人数(再任用)	人	人件費は、中央公民館事業費[中央公民館事業]に含まれる								
		職員人件費(再任用以外)	円									
		職員人件費(再任用)	円									
事業費+人件費		円	0	80,665,839	5,128,089							
4 環境変化等	(1) 開始年度 昭和49 年度											
	(2) 環境の変化 ・平成26年度耐震化工事 ・平成31年度外壁及び屋上防水改修工事 ・平成31年度ホール天井改修工事 平成31年度より「3経費」の計上方法を変更した(「中央公民館事業」に経費を一括して計上していたが、「中央公民館事業」「中央公民館施設管理」「公民館運営審議会の開催」「五館合同事業」にそれぞれ計上するようにした(人件費を除く))。											

事業名称	中央公民館事業費 [中央公民館施設管理]			
担当部署・課長名	中央公民館	課	事業係	課長名 越中 洋

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 実習室の排水不良、雨水排水管のつまり、窓サッシ開閉等、修繕要望。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ	取組手法：		
	☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 修繕を必要とする箇所が多数あるため、状況把握に努め、計画的に修繕を実施する必要がある。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 建物劣化診断を実施。施設内点検を行い、多数ある修繕箇所に対し優先度を見定め、都度修繕にあたった。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 建物劣化診断結果報告では多数の修繕箇所がある。どの部位をどの範囲で修繕する必要があるのかを見極め、適切な対応を行う必要がある。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名：生涯学習の充実 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 計画的に修繕を実施し、大規模修繕が必要なものについては実施計画に計上し、予算確保に努める			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	・修繕箇所の把握、適切な修繕方法の検討。			